

# 読書感想文の書き方

## 準備段階 その1

再読する時、気になるところ、おもしろいところに付箋を貼っていく。

一回目に読む時に貼ってもよい。

付箋を貼り終わったら、それぞれの付箋に本文を短く書き写す。(ページを書いておく)

付箋を台紙(大きめの紙)に貼る

抜き書きしたものについて短いコメントを別の付箋に書いて台紙に貼り付ける。

コメントには「感想」や「気づいたこと」を書く。

一通りコメントを書いたら、同じような内容のものをまとめてグループ分けする。

抜き書きとコメントに同じ番号を打っておくと便利。

グループを10~12個にしぼる。

## 準備段階 その2

1グループを1パラグラフとする。

1グループを1枚の台紙に張り替えるとよい。台紙はB6程度の大きさが適当。

1パラグラフに3~5枚の付箋が必要。足りない場合はつけたしておく。

1文を30~50字程度にしておく。

各パラグラフのトピック・センテンスを作る。

結論のパラグラフを決める。

序論のパラグラフを決める。適当なものがない場合は「書き出し」は後で考えることにする。

トピック・センテンスを先頭に置き、台紙を順番に並べてみる。

序論がない場合は結論を利用して、「書き出し」を書いてみる。

## 執筆

指定の書き方に従って、原稿用紙に書いていく。

パラグラフの先頭にトピック・センテンスを書く。

トピック・センテンスの後にメモを書く。(サポーターティング・センテンス)

パラグラフの末尾につなぎのために締めくくりの文を書く。(コンクルーディング・センテンス)

サポーターティング・センテンスが次のパラグラフのトピックセンテンスに直接つながらない時に必要。